

令和7年度第4回江東区コンプライアンス推進委員会 議事録

日 時	令和8年3月24日（火）13:14～13:52
場 所	庁舎4階 庁議室
出席者	別紙名簿のとおり
議 題	（１）コンプライアンス推進に係る令和8年度の取組について （２）今後のスケジュールについて （３）江東区コンプライアンス推進委員会設置要綱の一部改正について

議 事 概 要
1 開会 <委員長> （開会のあいさつ） 2 議事 （１）コンプライアンス推進に係る令和8年度の取組について <事務局> （資料1～3について説明） <委員> まず、資料2の「風通し講習会の良い職場づくり講習会」についてである。例えば、心理的安全性を高めるのであれば、各職場の中で自由に意見が言えたり、話を聞き入れてもらえたりといったことが肝心になると思うので、係長や主任というよりは、意思決定に関わる部長や課長を受講対象にした方がよいのではないか。 次に、資料3に関する事務処理ミスの再発防止についてであるが、事務処理ミスの根本的な原因を検証・分析したりする取組は考えているのか。各所属でよくある再発防止策を報告書に書いても、同じようなミスを繰り返してしまうのではないか。 <事務局> 一点目であるが、受講対象者をどのように設定するかについては事務局でも色々検討したところである。（今年度実施したコンプライアンス推進に関する）アンケートの結果を踏まえると、中間層の職員が（コミュニケーションの）機能を十分に果たしているかという状況があり、職場にもよるかと思うが、管理職・係長と若手職員とをつなぐ職員についてコミュニケーションがうまく取れていないのではないかと考えた。そのため、今回は管理職を対象とするのではなく、まずは係長級職員や主任を対象に実施してみることとした。こうし

た受講対象者の設定が望ましいかどうかは、受講者アンケートなどを踏まえて検証・検討していく。

二点目の事務処理ミスの報告書についてであるが、要因分析については、まずは当該部署がどのように事案を認識して分析するかが第一であると考ええる。今回、こうした統一的な報告様式を定めることで、コンプライアンス推進担当に事務処理ミスの情報が集約されるため、傾向把握とある程度の分析をすることができ、それらを整理したうえでの庁内周知や注意喚起はできると考えている。まずは情報収集しながら、今後の方策を検討していきたい。

<委員>

ミスの原因分析やどのような観点で対策を立てるかということは、基本は所管でやるという認識でよいか。分析手法などをコンプライアンス推進担当から示してもらえるとということではなく、各所管でそれぞれ考えてやるということではよいか。

<事務局>

ミスを再発させないための方策が一番わかるのはミスを起こした所管であるはずなので、まずはどうやったらよいかをしっかりと考えていただいて、報告いただくことが第一であると考ええる。その中で、コンプライアンス推進担当に集まった事案について効果的な対策があれば情報提供させていただくといった運用で進めていきたい。

<委員長>

一点目の受講対象者の設定についてであるが、毎年、主任職昇任選考合格者と懇談する場があり、自分より若い職員とどのように接したらよいかわからないという不安の声を聞いている。部長級職員、課長級職員、係長、主任それぞれで困っている職員がいると思われるが、まずは来年度については、係長と主任を対象に実施していくイメージだと思う。

二点目の事務処理ミスの解決策についてであるが、答えがあればとくに皆さんにお伝えしているところである。やはり職場での十分な話し合いや検討といった積み上げをやっていかないと事務処理ミスは減っていかないという印象である。事務局が述べたように、こういう対策をしたら事務処理ミスが減ったというような好事例を庁内周知できれば各所管の参考になると思う。まずは全庁的な情報集約からスタートするイメージなので、特効薬ではないと思うが、ご理解いただきたい。

<委員>

資料2の「あいさつ・声かけアクション」について、区長・副区長・教育長による挨拶は良い取組だと思うが、実施期間1週間のうち初日だけということである。本気度ということで職員に訴えるのであれば、1週間毎日やってもよいのではないかなと思う。区長・副区長・教育長の全員が毎日立つということではなく、4人を一日ずつ割り振ったり、部長級職員が立ったりしてもよいかなと思う。また、実施時間は8時10分から8時25分となっているが、8時3

0分までとすべきではないか。

<事務局>

区長・副区長・教育長が立って挨拶するのが初日だけということについては、来年度初めて実施する取組なので、いきなりハードルを高くするのはどうかということや首脳部の負担なども考慮して、まずは一日ということでスタートしたい。また、実施の時間帯であるが、首脳部とも調整して検討したい。職員同士の挨拶が浸透すれば、区民対応や接遇の向上にもつながってくると思うので、そのきっかけづくりとして進めていきたい。

<委員>

実施スケジュールについて、7月1日は区長と教育長は「社会を明るくする運動」の対応があるため、挨拶に立つのは難しいと思う。

<事務局>

資料2では象徴的に「初日」と記載しているが、期間中のうち実施できる日にちで調整する。実施前には庶務担当課長会などで周知させていただく。

<委員長>

今回の話（区長・副区長・教育長が立って挨拶すること）は、監視のために立つという発想でなく、挨拶をしましょうということが発想のスタートであるので、まずは試しに一日やってみるということである。事務局からも話があったが、アンケートなりで効果を検証してみて、毎年やり方を変えていくようなイメージだと思う。

（２）今後のスケジュールについて

<事務局>

（資料4について説明）

（意見・質疑なし）

（３）江東区コンプライアンス推進委員会設置要綱の一部改正について

<事務局>

（資料5及び参考資料について説明）

（意見・質疑なし）

3 閉会

<委員長>

（閉会のあいさつ）

令和7年度江東区コンプライアンス推進委員会 委員名簿

	役 職	氏 名	所 属	出欠（第4回）
1	委 員 長	綾部 吉行	副区長	出席
2	副委員長	油井 教子	副区長	出席
3	副委員長	本多 健一朗	教育長	出席
4	委 員	炭谷 元章	政策経営部長	出席
5	委 員	杉村 勝利	総務部長	出席
6	委 員	池田 良計	地域振興部長	出席
7	委 員	市川 聡	区民部長	出席
8	委 員	岩井 健	福祉部長	出席
9	委 員	干泥 功夫	障害福祉部長	出席
10	委 員	大江 英樹	生活支援部長	出席
11	委 員	北村 淳子	健康部長	出席
12	委 員	河野 佳幸	健康部次長	出席
13	委 員	堀田 誠	こども未来部長	出席
14	委 員	大塚 尚史	環境清掃部長	出席
15	委 員	立花 信行	都市整備部長	出席
16	委 員	石井 康弘	土木部長	出席
17	委 員	老川 和宏	会計管理室長	出席
18	委 員	青柳 幸恵	教育委員会事務局次長	出席
19	委 員	藤田 和哉	選挙管理委員会事務局長	出席
20	委 員	加川 彰	監査事務局長	出席
21	委 員	岩瀬 亮太	区議会事務局長	出席